

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 (2016 年) 5 月 12 日から

平成 29 年 (2017 年) 3 月 31 日まで

一般財団法人

九 電 み ら い 財 団

活動初年度となる平成 28 年度は、環境活動（環境保全活動と環境教育活動）および次世代育成支援活動の 2 項目を柱に活動を展開するとともに、これらの活動の情報発信を推進

I 環境活動

1 坊ガツル湿原での環境保全活動、及び周辺地域での希少植物保護活動

- 坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、湿原の野焼きや外来種駆除、植生保護等の活動を実施
- 各活動とも九州電力グループ各社や関係団体、環境省のパークボランティア等へ参加を呼びかけたことで、参加者は約 580 名（前年比約 200 名増）に拡大

(1) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）野焼き活動

- 実施にあたっては、財団と地元の団体・企業等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団法人）」を開催し、実施日や役割分担を決定。実施当日は、九州電力(株)大分支社および地元団体と連携のうえ、活動を実施
- 他地域での野焼きで発生した死亡事故事例を踏まえ、登山客への注意喚起等の安全対策を重点的に実施

活 動	内 容	実施日	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼を防止するための防火帯をつくる作業	8/27	137 名
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように、刈った草を集め焼き払う作業	9/10	128 名
本焼き	防火帯の内側に火入れを行い、坊ガツル湿原一帯を焼く作業	3/11	149 名

(2) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）外来種駆除活動

内 容	実施日	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来種植物の除去を行うとともに、実施後、参加者を対象とした自然観察会を実施	8/7	88 名

(3) 平治岳（大分県竹田市）ミヤマキリシマ植生保護活動、及び登山道整備

内 容	実施日	参加者
希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、育成に支障となる樹木（ノリウツギ等）を伐採するとともに、老朽化している登山道を整備	11/3	73 名

(4) 活動の充実策

- 野焼き作業者が高齢化している状況を踏まえ、野焼き活動のリーダーを育成

内 容	実施日	参加者
野焼き活動の経緯や安全管理に関する座学での講習および刈払機の実技指導を実施	2/18	26 名

(5) 活動の評価

- 平成 28 年度は参加者の拡大に注力した結果、昨年度に比べ増加。ただし、危険作業を伴う活動であるため、参加者数は平成 28 年度の規模がほぼ上限
- 野焼き活動は、他地域における事故事例等を検証し、活動マニュアルに反映するなど、安全面での取組みを充実させることが必要
- 今後は、ラムサール条約の目的である湿原の「保全」と「活用」に向け、取組み内容の充実が必要

2 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動

- 市民の環境保全意識の向上のため、山下池周辺「くじゅう九電の森」において、次世代（小中学生）や保護者への環境教育を実施

【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林のCO2抑制効果・防災機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の見学、間伐の見学・体験、枝切りや植樹などを体験

(1) 次世代向け

- 福岡県、佐賀県、大分県内の教育委員会や校長会等を通じ、各学校や団体に案内した結果、福岡県・大分県の小中学校や子どもクラブから申込みがあり、計15回実施、530名（次世代467名、引率63名）が参加

実施日	対 象	地域	子供	引率	計
5月19日(木)	由布院小学校	大分	35	4	39
5月20日(金)	由布院小学校	大分	33	3	36
8月4日(木)	佐伯市立明治小学校	大分	23	2	25
8月9日(火)	別府子どもクラブ	大分	26	4	30
8月18日(木)	国東市教育委員会	大分	57	6	63
8月23日(火)	しらゆりゆめクラブ	大分	35	5	40
9月21日(水)	二日市小学校 4-2	福岡	31	2	33
9月26日(月)	二日市小学校 4-3	福岡	31	2	33
9月27日(火)	二日市小学校 4-4	福岡	29	2	31
10月1日(土)	西高塾	福岡	25	10	35
10月12日(水)	佐賀関中学校	大分	37	5	42
10月15日(土)	豊後大野市放課後教室	大分	30	6	36
10月19日(水)	二日市小学校 4-1	福岡	30	2	32
10月21日(金)	大牟田市立明治小学校	福岡	28	3	31
11月4日(金)	由布市立川西小学校	大分	17	7	24
計			467	63	530

(2) 親子向け

- 北九州市、福岡市、大分市の親子を対象に、親子向けの環境教育を実施。次世代向けの環境教育に加え、保護者を対象とした森林でのヨガ体験やノルディック・ウォークなど、夏休みのイベントとして実施
- リビング福岡など各市におけるフリーペーパーに広告を掲載して参加者を公募した結果、親子104組、208名が参加

実施日	対 象	子供	大人	計
7月30日(木)	福岡市周辺の親子(1回目)	33	33	66
7月31日(金)	福岡市周辺の親子(2回目)	33	33	66
8月20日(木)	北九州市周辺の親子	24	24	48
8月21日(火)	大分市周辺の親子	14	14	28
	計	104	104	208

(3) 活動の評価

- 参加者へのアンケート結果では、「活動で得た知識・体験を今後の生活に役立てたい」、「節電や自然を大切にしていきたいことを心掛けたい」等の意見が多く、環境保全意識の向上に効果があったと考えられる。
- また、教育関係者からも「子ども目線でのわかりやすい説明で参考になった」など、プログラム内容等への評価も高かった。
- 今後は、実施回数や他地域からの参加を増やすことで、活動の認知度を高めることが必要

Ⅱ 次世代育成支援活動

1 募集

- 平成 28 年度および 29 年度は、少子高齢化や共働き世帯の増加など、子ども達の育成環境を取り巻く現状や課題の中から、有識者の意見や他財団の活動事例も踏まえ、いずれも「子ども達への支援活動」と「子育て世帯への支援活動」を募集テーマに設定
- 財団ホームページや九州電力フェイスブックページのほか、九州各県の社会活動推進担当部署等を通じて、社会活動団体支援ネットワークのメールマガジン等により幅広く周知し、募集

2 選考結果

(1) 平成 28 年度（詳細は別紙 1 参照）

- 九州各地から 67 件（平均で 77 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、20 件（13.4 百万円）の団体に助成。助成にあたり、財団の活動 P R や団体との関係強化に向け、九州電力の各支社で贈呈式を実施
- 団体の活動取材し財団ホームページやフェイスブックで紹介（団体の活動時には財団の助成活動である旨を明示）。

(2) 平成 29 年度（詳細は別紙 2 参照）

- 平成 28 年度と同様のテーマで募集した結果、103 件（平均 74 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、20 件（14 百万円）の助成を決定

3 助成先団体の概要

(1) 助成分野と件数

テーマ	活動分野	助成件数	
		H28 年度	H29 年度
子どもたちへの支援	子どもの貧困対策や居場所づくり、ハンディキャップを抱える子どもの支援	8	6
	郷土教育や演劇・音楽等、様々な体験を通じた次世代育成	9	9
子育て世帯への支援		3	5
合計		20	20

(2) 地区別応募・選考状況

	地区	北九州	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	合計
H28 年度	応募	5	13	8	5	7	13	7	9	67
	選考	3	3	2	1	1	4	3	3	20
H29 年度	応募	12	16	16	3	11	14	10	21	103
	選考	3	3	2	1	2	4	1	4	20

Ⅲ 活動の情報発信

- 財団ホームページを5月に立ち上げ、8月にフェイスブックを開始。財団の活動案内や募集時には、都度、マスコミへ取材案内を行うとともに、フェイスブック記事を九電のフェイスブックページがシェアし、情報を拡散
- 坊ガツル湿原一帯での環境活動を九州電力のホームページで特集として掲載するとともに、野焼き活動の様子を九州電力のCMとして放映

Ⅳ その他

1 事業報告の附属明細書

- 平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以 上

平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 (2017 年) 4 月 1 日 から

平成 30 年 (2018 年) 3 月 31 日まで

一般財団法人

九 電 み ら い 財 団

平成 29 年度は、前年度の実施状況や評価等を踏まえ、環境活動（環境保全活動と環境教育活動）、次世代育成支援活動および活動の情報発信について充実を図るとともに、新規活動を実施

I 環境活動

1 坊ガツル湿原（大分県竹田市）での環境保全活動および周辺地域での希少植物保護活動

- 坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、湿原の野焼きや外来種駆除、植生保護等の活動を計画
- 各活動とも概ね計画どおりに実施できたものの、一部で悪天候による延期や中止に伴い、参加者は 529 名（前年度比 46 名減）

(2) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 実施にあたっては、当財団と地元の団体・企業等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」を開催し、実施日や役割分担を決定。当日は、九州電力株大分支社および地元団体と連携のうえ、活動を実施
- 他地域での野焼きにおける事故事例を踏まえ、必要な備品の充実や登山客への注意喚起等の安全対策を重点的に実施

活 動	内 容	実施日	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼を防止するための防火帯をつくる作業	8/27	87 名
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように、刈った草を集め焼き払う作業	10/9	128 名
本焼き	防火帯の内側に火入れを行い、坊ガツル湿原一帯を焼く作業	3/31	130 名

(2) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）外来種駆除活動

内 容	実施日	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来種植物の除去を行うとともに、実施後、参加者を対象とした自然観察会を実施	予定日、予備日ともに雨天のため中止	

(3) 平治岳（大分県竹田市）ミヤマキリシマ植生保護活動および登山道整備

内 容	実施日	参加者
希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、育成に支障となる樹木（ノリウツギ等）を伐採するとともに、老朽化している登山道を整備	4/3	95名
	11/3	89名

(4) 野焼きリーダー養成研修

- 野焼きリーダーが高齢化している状況を踏まえ、野焼き活動の後継者を育成

内 容	実施日	参加者
野焼き活動の経緯や安全管理に関する座学での講習および刈払機の実技指導を実施	2/18	17名

(5) 新規活動

- ラムサール条約が求める「保全」と「活用」の観点から新規活動を実施

内 容	実施日	参加者
登山者による外来植物の種子持込みを防止するためのマットを登山口に設置	10/2	—
湿原を守るためのルールや周辺のガイドマップ、四季の花々などを掲載したリーフレットを制作し、長者原ビジターセンター等で配布	10/24	—
湿原や当財団の活動の認知度向上を目的としたバスツアーの企画	雨天のため中止	
ミヤマキリシマ植生範囲の拡大に向け、平治岳北部において調査伐採を実施	12/5	—

(6) 活動の評価

- 九州電力グループ内に広く参加を呼びかけた結果、幅広い地域やグループ会社からの参加につながった。ただし、安全管理等の観点から各活動の受入れ可能人数には上限があり、更なる参加規模の拡大は困難な状況
- 新規活動については、地元の関係先（森林管理署や長者原ビジターセンターなど）からの評価も高く、従来の活動と併せ、坊ガツル湿原の環境面での価値向上や、坊ガツル湿原周辺地域での財団事業の認知度向上に寄与
- 活動は環境省等が後援するコンテスト等でも高く評価され、「いきものにぎわい企業活動コンテスト」（会長賞）、「日本自然保護大賞」（入選）を獲得したほか、九州電力の「地球環境大賞」（経済産業大臣賞）受賞にも寄与

2 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動

- 市民の環境保全意識の向上のため、山下池周辺の九州電力社有林「くじゅう九電の森」において、次世代（小中学生）や保護者を対象に、「講話」と「体験」から成る環境教育を実施

【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林のCO2抑制効果・防災機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の観察、間伐、植樹などを体験

(1) 学校向け

- 福岡県、佐賀県、大分県内の教育委員会や校長会等を通じ、各学校や団体に案内した結果、福岡県・大分県の小中学校や子どもクラブから申込みがあり、計20回実施、970名（子ども892名、引率78名）が参加

実施日	対 象	地域	子ども	引率	計
4月18日(火)	福岡市立福岡中学校	福岡	49	7	56
5月11日(木)	福岡市立早良小学校	福岡	28	3	31
5月19日(金)	別府市立緑丘小学校	大分	46	2	48
6月6日(火)	由布市立湯布院小学校①	大分	34	4	38
6月9日(金)	由布市立湯布院小学校②	大分	31	3	34
8月8日(火)	佐伯市立明治小学校	大分	22	3	25
8月23日(水)	西高塾	福岡	27	9	36
8月29日(火)	福岡市立席田小学校	福岡	49	4	53
9月6日(水)	福岡市立日佐小学校①	福岡	35	2	37
9月13日(水)	福岡市立日佐小学校②	福岡	36	3	39
9月15日(金)	福岡市立吉塚小学校	福岡	74	4	78
9月21日(木)	大分市立神崎中学校	大分	31	4	35
10月6日(金)	北九州市立中尾小学校	北九州	65	4	69
10月14日(土)	豊後大野市教育委員会	大分	45	7	52
10月17日(火)	筑紫野市立二日市小学校①	福岡	72	4	76
10月18日(水)	筑紫野市立二日市小学校②	福岡	72	4	76
10月19日(木)	大牟田市立明治小学校	福岡	31	2	33
10月24日(火)	福岡市立愛宕浜小学校①	福岡	41	3	44
10月27日(金)	福岡市立愛宕浜小学校②	福岡	42	2	44
11月7日(火)	大牟田市立白川小学校	福岡	62	4	66
計			892	78	970

(2) 親子向け

- 北九州市、福岡市、大分市の親子を対象とした環境教育を実施。次世代向けの環境教育に加え、保護者とともに楽しむ工作やピザ焼き体験など、親子向けのイベントとして実施
- 小学校へのチラシ配布等により参加者を公募した結果、親子 104 組、310 名が参加

実施日	対 象	子ども	大人	計
5 月 27 日(土)	佐賀市周辺の親子	40	38	78
7 月 23 日(日)	福岡市周辺の親子 (1 回目)	37	42	79
7 月 30 日(日)	大分市周辺の親子	35	38	73
8 月 5 日(日)	福岡市周辺の親子 (2 回目)	悪天候のため中止		
11 月 12 日(日)	北九州市周辺の親子	40	40	80
計		152	158	310

(3) 活動の評価

- 学校向けについて活動回数の増加や運営方法の見直し（2 班入替制の導入）により、参加者数が拡大（前年度比 5 回、542 名増）
- 参加者へのアンケート結果では、「自然を大切にしたい」「省エネを心がけたい」等の意見が多く、環境保全意識の向上に効果があったと考えられる。
- また、教育関係者からもプログラムの内容に加え、安全管理や実施体制も含め高い評価を得た。
- 活動は林野庁が後援するコンテストでも高く評価され、「Forest Good 2017 ～間伐・間伐材利用コンクール～」の「間伐実践・環境教育部門」において、「特別賞」を受賞
- 今年度は雨天による中止・延期が多かったため、今後は雨天時のプログラムや設備の充実が必要

II 次世代育成支援活動

1 募集

- 少子化や共働き世帯の増加など、子ども達の育成環境を取り巻く現状や課題の中から、有識者の意見や他財団の活動事例も踏まえ、前年に引き続き「子ども達への支援活動」と「子育て世帯への支援活動」を募集テーマに設定
- 当財団のホームページや九州電力のフェイスブックのほか、九州各県の社会活動推進担当部署等を通じて、社会活動団体支援ネットワークのメールマガジン等により幅広く周知し、募集

2 選考結果

(1) 平成 29 年度

- 九州各地から 103 件（平均で 74 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、20 件（約 14 百万円）の団体に助成。助成にあたり、財団の活動 PR や団体との関係強化に向け、九州電力の各支社で贈呈式を実施
- 団体の活動取材し財団ホームページやフェイスブックで紹介（団体の活動時には財団の助成活動である旨を明示）

また、平成 28 年度助成団体を対象に、ホームページ閲覧者による共感できる活動への Web 投票や、応援コメントを受け付ける「みらい応援キャンペーン」を実施し、評価が高い 3 団体に奨励金（各 10 万円）を贈呈

(2) 平成 30 年度（詳細は別紙参照）

- 平成 29 年度と同様のテーマで募集した結果、130 件（平均 76 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、22 件（約 14 百万円）の助成を決定

3 助成先団体の概要

(1) 助成分野と件数

テーマ	活動分野	助成件数	
		H29 年度	H30 年度
子どもたちへの支援	子どもの貧困対策や居場所づくり、ハンディキャップを抱える子どもの支援	5	6
	郷土教育や演劇・音楽等、様々な体験を通じた次世代育成	9	12
子育て世帯への支援	共働き世代への子育て支援	6	4

(2) 地区別応募・選考状況

	地区	北九州	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	合計
H29 年度	応募	12	16	16	3	11	14	10	21	103
	選考	3	3	2	1	2	4	1	4	20
H30 年度	応募	16	30	19	11	6	16	16	16	130
	選考	3	3	2	2	1	3	4	4	22

4 活動の評価

- 助成先団体からは、団体の活動取材して行う情報発信や、イベント等への協力など、単なる助成にとどまらない点が「他にはない支援でありがたい」と評価されている
- 「みらい応援キャンペーン」は、1,209 名がメール登録し、多くの投票や応援コメントが寄せられた。助成先団体からは「活動の励みになった」などの声をいただいたほか、ホームページやフェイスブックの閲覧数増加により、財団の認知度も向上

Ⅲ 活動の情報発信

- ホームページやフェイスブックの更新頻度を上げたほか、多様な媒体での情報発信を実施
 - ・ 九州電力グループ生活情報誌「みらいと」での活動紹介
 - ・ インスタグラム（平成 29 年 11 月～）を開始し、活動時の写真等を発信
 - ・ 活動内容を紹介するプロモーション動画を制作し、Youtube で公開したほか、九州電力本店ロビーにて放映
 - ・ 当財団の活動時の写真等で構成した「九電みらい財団カレンダー2018」を製作し、各種イベントで配布（2,000 部）

Ⅳ その他

1 賛助会の設立

- 当財団の事業を九電グループ全体で支援する賛助会を設立。各社に加入の呼びかけを行った結果、30 社が入会（賛助会費：計 680 万円）

2 事業報告の附属明細書

- 平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 64 条において準用する第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以上

2018年度事業報告書

平成30年(2018年)4月1日から
平成31年(2019年)3月31日まで

一般財団法人
九電みらい財団

2018 年度は、前年度の実施状況や評価等を踏まえ、環境活動（環境保全活動と環境教育活動）、次世代育成支援活動及び活動の情報発信について充実を図るとともに、新規活動を実施

I 環境活動

1 坊ガツル湿原（大分県竹田市）での環境保全活動及び周辺地域での希少植物保護活動

- 坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、湿原の野焼きや希少植物保護、植生保護等の活動を計画
- 各活動とも概ね計画どおりに実施。一部で悪天候による延期があったものの、活動の参加希望者は多く、585 名が参加（前年度比 56 名増）

(3) 坊ガツル湿原 野焼き活動

- 実施にあたっては、当財団と地元の団体・企業等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」を開催し、実施日や役割分担を決定。当日は、九州電力㈱大分支社及び地元団体と連携のうえ、活動を実施
- 他地域での野焼きにおける事故事例を踏まえ、必要な備品の充実や登山客への注意喚起等の安全対策を重点的に実施

活 動	内 容	実施日	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼を防止するための防火帯をつくる作業	8/18	140 名
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように、刈った草を集め焼き払う作業	9/17	100 名
本焼き	防火帯の内側に火入れを行い、坊ガツル湿原一帯を焼く作業	3/16	128 名

(2) 坊ガツル湿原 希少植物保護活動

内 容	実施日	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来種植物の除去を行うとともに、実施後、参加者を対象とした自然観察会を実施	7/14	77 名

(3) 平治岳（大分県竹田市）ミヤマキリシマ植生保護活動及び登山道整備

内 容	実施日	参加者
希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、育成に支障となる樹木（ノリウツギ等）を伐採するとともに、老朽化している登山道を整備	4/21	67 名
	11/3	73 名

(4) 新規活動

- ラムサール条約が求める「保全」と「活用」の観点から新規活動を実施

内 容	実施日	参加者
近年増加している外国人旅行者に坊ガツル湿原を楽しむルールやマナーを知っていただくため、外国語版（英語・中国語・韓国語）のリーフレットを長者原ビジターセンター等で配布	4/27	—
坊ガツルを訪れる機会がない方を対象に、登山や写真撮影の指導を行うバスツアーを企画・実施	5/19	34名
	10/27	35名

- ※ 野焼き活動の後継者を育成する「野焼きリーダー養成研修」は、これまで42名が受講し、一定数のリーダー候補を確保できたことから2018年度は未実施（今後は隔年で実施予定）

(5) 活動の評価

- 活動の申込者数は年々増加。大分以外の県やグループ各社からの参加者も増え、九電グループのシンボリックな環境保全活動として定着
- 外国語版リーフレットについては、竹田市や観光案内所から「外国人旅行者が増えていくこともあり効果的な取組み」や「案内する側にとってもありがたい」など高評価
- バスツアーは、多くの参加者が「坊ガツルをまた訪れたい」と評価。九州電力のイメージ向上にも寄与しているが、継続に向けては費用対効果の改善が必要

2 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動

- 市民の環境保全意識の向上のため、山下池周辺の九州電力社有林「くじゅう九電の森」において、次世代（小中学生）や保護者を対象に、「講話」と「体験」から成る環境教育を実施

(1) 学校向け

- 福岡県、佐賀県、大分県内の教育委員会や校長会等を通じ、各学校や団体に案内した結果、福岡県・大分県の小中学校や児童クラブから申込みがあり、計 18 回実施、977 名（子ども 904 名、引率 73 名）が参加

〔内訳：小学校 14 校、中学校 1 校、大学 2 校、児童クラブ 1 団体〕

	実施日	対 象	地域	子ども	引率	計
1	5月15日(火)	由布市立由布院小学校	大分	73	5	78
2	5月16日(水)	福岡市立早良小学校	福岡	30	2	32
		福岡市立春吉小学校	福岡	28	2	30
3	5月17日(木)	由布市立西庄内小学校	大分	41	4	45
4	6月5日(火)	福岡市立吉塚小学校①	福岡	45	4	49
		佐伯市立明治小学校	大分	26	2	28
5	6月6日(水)	福岡市立花畑小学校	福岡	79	5	84
6	6月7日(木)	福岡市立吉塚小学校②	福岡	46	4	50
7	6月8日(金)	別府市立緑丘小学校	大分	40	3	43
8	8月21日(火)	大牟田市立白川小学校	福岡	48	3	51
-	8月22日(水)	豊後大野市教育委員会	大分	台風のため中止		
		西高塾	福岡			
-	8月23日(木)	国東市協育ネットワーク	大分	台風のため中止		
9	9月11日(火)	大分市立神崎中学校	大分	32	3	35
10	9月12日(水)	筑紫野市立二日市小学校①	福岡	61	3	64
11	9月13日(木)	筑紫野市立二日市小学校②	福岡	62	4	66
12	10月13日(土)	西南学院大学 福岡女子大学	福岡	20	1	21
13	10月16日(火)	大牟田市立明治小学校	福岡	35	3	38
14	10月17日(水)	福岡市立愛宕浜小学校①	福岡	41	3	44
15	10月18日(木)	福岡市立愛宕浜小学校②	福岡	41	3	44
16	10月19日(金)	福岡市立臼佐小学校	福岡	67	4	71
17	11月6日(火)	福岡市立席田小学校	福岡	54	3	57
18	11月24日(土)	土曜寺子屋・つくみ塾	大分	35	12	47
	計			904	73	977

(2) 親子向け

- 福岡県や大分県の親子を対象とした環境教育を実施。保護者とともに取り組む工作やピザ焼き体験など、森を楽しむ要素を盛り込んだ親子向けのイベントとして実施
- 小学校へのチラシ配布等により参加者を公募した結果、計4回実施、298名（子ども154名、大人144名）が参加

	実施日	対 象	子ども	大人	計
1	5月26日(土)	福岡市周辺の親子(1回目)	40	39	79
2	7月28日(土)	福岡市周辺の親子(2回目)	41	39	80
-	7月29日(日)	佐賀市周辺の親子	台風のため中止		
3	8月4日(土)	北九州市周辺の親子	43	38	81
-	10月6日(土)	大分市周辺の親子	台風のため中止		
4	10月7日(日)	佐賀市周辺の親子 ※7/29の振替	30	28	58
		計	154	144	298

(3) 活動の評価

- 参加した教員や保護者からは、プログラムの内容に加え、安全管理や実施体制も含め、高い評価を得ている。
- 学校向けについては、悪天候による中止はあったものの、運営体制を見直して1回あたりの参加人数枠を拡大したことにより、参加者数は前年度とほぼ同数を確保できた。
(前年度に比べ実施回数は2回減、参加者数は7名増)
- 学校向けは、参加枠(20回)に対し同程度の申込み校数であり、複数校の同時実施が成立しにくかったことから、次年度に向けては募集開始時期の早期化や幅広いPRについて検討が必要
- 親子向けについては、九州電力のTVCMや生活情報誌「みらいと」の効果により、現在の対象エリア(福岡、大分、佐賀)以外からも参加希望の声が寄せられている。

II 次世代育成支援活動

1 募集

- 少子化や共働き世帯の増加など、子ども達の育成環境を取り巻く現状や課題の中から、有識者の意見や他財団の活動事例も踏まえ、前年に引き続き「子ども達への支援活動」と「子育て世帯への支援活動」を募集テーマに設定
- 当財団のホームページや九州電力のフェイスブックのほか、九州各県の社会活動推進担当部署等を通じて、社会活動団体支援ネットワークのメールマガジン等により幅広く周知し、募集

2 選考結果

(1) 2018 年度

- 九州各地から 130 件の応募があり、選考委員会で審議のうえ、22 件（約 14 百万円、1 件あたり約 64 万円）の団体に助成。助成にあたり、財団の活動PRや団体との関係強化に向け、九州電力の各支社で贈呈式を実施
- 団体の活動取材し財団ホームページやフェイスブックで紹介（団体の活動時には財団の助成活動である旨を明示）
また、2017 年度助成団体を対象に、ホームページ閲覧者による共感できる活動へのWeb投票や、応援コメントを受け付ける「みらい応援キャンペーン」を実施し、評価が高い3団体に奨励金（各 10 万円）を贈呈

(2) 2019 年度（別紙参照）

- 2018 年度と同様のテーマで募集した結果、121 件の応募があり、選考委員会で審議のうえ、23 件（約 15 百万円、1 件あたり約 64 万円）の助成を決定

3 助成先団体の概要

(1) 助成分野と件数

テーマ	活動分野	助成件数	
		2018 年度	2019 年度
子どもたちへの支援	子どもの貧困対策や居場所づくり、ハンディキャップを抱える子どもの支援	6	5
	郷土教育や演劇・音楽等、様々な体験を通じた次世代育成	12	12
子育て世帯への支援	共働き世代への子育て支援	4	6

(2) 地区別応募・選考状況

	地区	北九州	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	合計
2018年度	応募	16	30	19	11	6	16	16	16	130
	選考	3	3	2	2	1	3	4	4	22
2019年度	応募	18	21	17	8	12	18	14	13	121
	選考	3	5	3	2	2	3	3	2	23

4 活動の評価

- 助成先団体からは、助成だけでなく広報面での支援や事業所によるイベントへの協力について高い評価をいただいている。
- 「みらい応援キャンペーン」は、1,628名がメール登録し、多くの投票や応援コメントが寄せられた。助成先団体からは「活動の励みとPRになった」などの声をいただいたほか、ホームページやFacebookの閲覧数増加により、財団の認知度も向上
- 2018年度中に、12団体（過去の助成先を含む）が、九州電力の事業所とイベント等で協働。単なる助成にとどまらず継続的な関係構築につながっている。

Ⅲ 活動の情報発信

- ホームページやSNS（フェイスブック、インスタグラム）のほか、九電グループ生活情報誌「みらいと」など多様な媒体での情報発信を実施。
- ・ インスタグラムでの写真コンテストや各活動時における参加者へのPRにより、フォロワー数が増加

[2018年度の報道実績]

()内は昨年度の実績

内 容	T V	新聞	合計
坊ガツル湿原一帯での環境保全活動	4	9	13(4)
くじゅう九電の森での環境教育	1	0	1(2)
次世代育成支援活動	1	12	13(15)
その他	0	2	2(1)
合 計	6	23	29(22)

[SNSフォロワー数]

S N S	2018年4月	2019年3月末
フェイスブック (2016.8～)	519	948
インスタグラム (2017.11～)	200	1,342

- ・ 各種会合等において、活動内容を紹介するプロモーション動画を放映。また活動時の写真パネルを各支社に提供し、展示
- ・ 当財団の活動時の写真等で構成した「九電みらい財団カレンダー2019」を製作し、各種イベントで配布

IV その他

1 九電みらい財団賛助会

- 財団事業を資金面で支援する賛助会について、引き続き加入呼びかけを実施。2018年度は新たに1社が入会（31社、賛助会費：計700万円）

2 積立資産の運用

九州電力から2017年度末に拠出された積立資産（5,000万円）について、積立資産運用規程に則り運用（2018年度末時点で4社、5,000万円の社債を保有）

	銘柄	格付	購入額	利率	期間
1	ユナイテッド・アーバン投資法人 第17回無担保投資法人債	AA	1,000万円	0.240%	5年6ヶ月
2	ソフトバンクグループ(株) 第53回無担保投資社債	A-	1,000万円	1.570%	約6年
3	商船三井ブルーオーシャン環境債 (株)商船三井第21回無担保社債	A-	2,000万円	0.420%	約5年
4	ハピネスモール債 イオンモール(株)第19回無担保社債	A-	1,000万円	0.3%	5年

3 事業報告の附属明細書

- 2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第64条において準用する第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以上

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,221,249	0	5,221,249
未収入金	218	0	218
流動資産合計	5,221,467	0	5,221,467
2. その他固定資産		0	0
敷金	54,000	0	54,000
出資金	10,000	0	10,000
固定資産合計	64,000	0	64,000
資産合計	5,285,467	0	5,285,467
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,114,939	0	2,114,939
流動負債合計	2,114,939	0	2,114,939
負債合計	2,114,939	0	2,114,939
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	3,170,528	0	3,170,528
正味財産合計	3,170,528	0	3,170,528
負債及び正味財産合計	5,285,467	0	5,285,467

※記載金額は消費税込みとなっております

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度 (平成30年3月現在)	前年度 (平成29年3月現在)	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,589,150	5,221,249	367,901
未収入金	320	218	102
流動資産合計	5,589,470	5,221,467	368,003
2. 固定資産			
(1)特定資産			
九電みらい積立資産			
現金預金	50,000,000	0	50,000,000
特定資産合計	50,000,000	0	50,000,000
(2)その他の固定資産			
敷金	54,000	54,000	0
出資金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	64,000	64,000	0
固定資産合計	50,064,000	64,000	50,000,000
資産合計	55,653,470	5,285,467	50,368,003
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,672,848	2,114,939	▲ 442,091
流動負債合計	1,672,848	2,114,939	▲ 442,091
負債合計	1,672,848	2,114,939	▲ 442,091
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	50,000,000	0	50,000,000
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(0)	(50,000,000)
2. 一般正味財産	3,980,622	3,170,528	810,094
正味財産合計	53,980,622	3,170,528	50,810,094
負債及び正味財産合計	55,653,470	5,285,467	50,368,003

(注)消費税等の会計処理は税込方式によっております。

貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度 (2019年3月現在)	前年度 (2018年3月現在)	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,285,276	5,589,150	1,696,126
未収入金	608,675	320	608,355
流動資産合計	7,893,951	5,589,470	2,304,481
2. 固定資産			
(1)特定資産			
九電みらい積立資産			
現金預金	45,112,391	50,000,000	▲ 4,887,609
投資有価証券	50,000,000	0	50,000,000
特定資産合計	95,112,391	50,000,000	45,112,391
(2)その他の固定資産			
敷金	54,000	54,000	0
出資金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	64,000	64,000	0
固定資産合計	95,176,391	50,064,000	45,112,391
資産合計	103,070,342	55,653,470	47,416,872
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,592,533	1,672,848	▲ 80,315
流動負債合計	1,592,533	1,672,848	▲ 80,315
負債合計	1,592,533	1,672,848	▲ 80,315
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	95,000,000	50,000,000	45,000,000
(うち特定資産への充当額)	(95,000,000)	(50,000,000)	(45,000,000)
2. 一般正味財産	6,477,809	3,980,622	2,497,187
(うち特定資産への充当額)	(112,391)	(0)	(112,391)
正味財産合計	101,477,809	53,980,622	47,497,187
負債及び正味財産合計	103,070,342	55,653,470	47,416,872

正味財産増減計算書
平成28年5月12日から平成29年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	48,000,000	0	48,000,000
雑収入(受取利息配当金)	399	0	399
経常収益計	48,000,399	0	48,000,399
(2) 経常費用			
事業費	36,692,986	0	36,692,986
普及宣伝費	4,347,575	0	4,347,575
報酬	0	0	0
委託費	11,837,360	0	11,837,360
通信運搬費	3,007,396	0	3,007,396
諸謝金	442,184	0	442,184
支払助成金	13,285,900	0	13,285,900
印刷製本費	665,420	0	665,420
制作費	671,220	0	671,220
法定福利費	0	0	0
旅費交通費	457,544	0	457,544
消耗品費	276,315	0	276,315
支払手数料	111,024	0	111,024
賃借料	9,126	0	9,126
リース料	0	0	0
租税公課	0	0	0
会議費	0	0	0
雑費	1,581,922	0	1,581,922
管理費	8,136,885	0	8,136,885
普及宣伝費	2,970,160	0	2,970,160
報酬	411,434	0	411,434
委託費	1,460,461	0	1,460,461
通信運搬費	209,614	0	209,614
諸謝金	0	0	0
支払助成金	0	0	0
印刷製本費	162,000	0	162,000
制作費	280,800	0	280,800
法定福利費	33,693	0	33,693
旅費交通費	172,699	0	172,699
消耗品費	615,818	0	615,818
支払手数料	54,000	0	54,000
賃借料	243,000	0	243,000
リース料	421,632	0	421,632
租税公課	1,047,220	0	1,047,220
会議費	0	0	0
雑費	54,354	0	54,354
経常費用計	44,829,871	0	44,829,871
評価損益等調整前当期経常増減額	3,170,528	0	3,170,528
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	3,170,528	0	3,170,528
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	3,170,528	0	3,170,528

※記載金額は消費税込みとなっております

正味財産増減計算書内訳表
平成28年5月12日から平成29年3月31日

(単位:円)

	事業会計				法人会計 (管理費)	合計
	環境活動		次世代育成支援活動	小計		
	坊ガツル温原一帯での 環境保全活動	山下池周辺での 環境教育活動				
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取寄付金	4,809,792	15,224,346	16,658,848	36,692,986	11,307,014	48,000,000
雑収入(受取利息配当金)	0	0	0	0	399	399
経常収益計	4,809,792	15,224,346	16,658,848	36,692,986	11,307,413	48,000,399
(2) 経常費用						
事業費	4,809,792	15,224,346	16,658,848	36,692,986	0	36,692,986
普及宣伝費	966,422	1,144,800	2,236,353	4,347,575	0	4,347,575
報酬	0	0	0	0	0	0
委託費	2,471,600	9,365,760	0	11,837,360	0	11,837,360
通信運搬費	0	2,958,990	48,406	3,007,396	0	3,007,396
諸謝金	0	162,552	279,632	442,184	0	442,184
支払助成金	0	0	13,285,900	13,285,900	0	13,285,900
印刷製本費	0	469,940	195,480	665,420	0	665,420
制作費	0	540,000	131,220	671,220	0	671,220
法定福利費	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	57,320	92,770	307,454	457,544	0	457,544
消耗品費	138,483	50,160	87,672	276,315	0	276,315
支払手数料	27,432	31,752	51,840	111,024	0	111,024
賃借料	9,126	0	0	9,126	0	9,126
リース料	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0
雑費	1,139,409	407,622	34,891	1,581,922	0	1,581,922
管理費	0	0	0	0	8,136,885	8,136,885
普及宣伝費	0	0	0	0	2,970,160	2,970,160
報酬	0	0	0	0	411,434	411,434
委託費	0	0	0	0	1,460,461	1,460,461
通信運搬費	0	0	0	0	209,614	209,614
諸謝金	0	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	162,000	162,000
制作費	0	0	0	0	280,800	280,800
法定福利費	0	0	0	0	33,693	33,693
旅費交通費	0	0	0	0	172,699	172,699
消耗品費	0	0	0	0	615,818	615,818
支払手数料	0	0	0	0	54,000	54,000
賃借料	0	0	0	0	243,000	243,000
リース料	0	0	0	0	421,632	421,632
租税公課	0	0	0	0	1,047,220	1,047,220
会議費	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	54,354	54,354
経常費用計	4,809,792	15,224,346	16,658,848	36,692,986	8,136,885	44,829,871
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	3,170,528	3,170,528
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	3,170,528	3,170,528
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	0	0	0	0	3,170,528	3,170,528

※記載金額は消費税込みとなっております

正味財産増減計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)	前年度 (平成28年5月12日～平成29年3月31日)	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	45,000,000	48,000,000	▲ 3,000,000
賛助会費	6,800,000	0	6,800,000
雑収益(受取利息配当金)	13,455,998	399	21
経常収益計	51,800,420	48,000,399	3,800,021
(2) 経常費用			
事業費	39,598,363	36,692,986	2,905,377
旅費交通費	1,189,415	457,544	731,871
通信運搬費	4,699,730	3,007,396	1,692,334
消耗品費	2,202,869	276,315	1,926,554
印刷製本費	1,026,476	665,420	3,354
賃借料	30,891	9,126	21,765
諸謝金	349,699	442,184	▲ 92,485
租税公課	3,600	0	3,600
支払助成金	13,592,941	13,285,900	307,041
委託費	11,283,934	11,837,360	▲ 553,426
普及宣伝費	2,810,981	4,347,575	▲ 1,536,594
支払手数料	148,176	111,024	37,152
制作費	347,868	671,220	▲ 323,352
雑費	1,911,783	1,581,922	329,861
管理費	11,391,963	8,136,885	3,255,078
報酬	319,789	411,434	▲ 91,645
給料手当	1,656,370	0	1,656,370
法定福利費	34,959	33,693	1,266
旅費交通費	559,304	172,699	386,605
通信運搬費	260,012	209,614	50,398
消耗品費	992,902	615,818	377,084
印刷製本費	400,052	162,000	238,052
賃借料	324,000	243,000	81,000
租税公課	73,073	1,047,220	▲ 974,147
委託費	3,819,192	1,460,461	2,358,731
普及宣伝費	1,466,724	2,970,160	▲ 1,503,436
支払手数料	102,168	54,000	48,168
制作費	421,200	280,800	140,400
リース料	667,440	421,632	245,808
雑費	294,778	54,354	240,424
経常費用計	50,990,326	44,829,871	6,160,455
評価損益等調整前当期経常増減額	810,094	3,170,528	▲ 2,360,434
当期経常増減額	810,094	3,170,528	▲ 2,360,434
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	810,094	3,170,528	▲ 2,360,434
一般正味財産期首残高	3,170,528	0	3,170,528
一般正味財産期末残高	3,980,622	3,170,528	810,094
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0
受取寄付金	50,000,000	0	50,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	50,000,000	0	50,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	0	50,000,000
III. 正味財産期末残高	53,980,622	3,170,528	50,810,094

(注)消費税等の会計処理は税込方式によっております。

正味財産増減計算書内訳表
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科目	事業会計				法人会計 (管理費)	合計
	環境活動		次世代育成支援活動	小計		
	山下池周辺での 環境教育活動	坊ガツル湿原一帯での 環境保全活動				
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取寄付金	13,455,998	5,475,312	13,867,053	32,798,363	12,201,637	45,000,000
賛助会費	51,800,420	1,135,182	2,875,021	6,800,000	0	6,800,000
雑収益(受取利息配当金)	0	0	0		420	420
経常収益計	16,245,795	6,610,494	16,742,074	39,598,363	12,202,057	51,800,420
(2) 経常費用						
事業費	16,245,795	6,610,494	16,742,074	39,598,363		39,598,363
旅費交通費	392,140	284,465	512,810	1,189,415		1,189,415
通信運搬費	4,696,376	0	3,354	4,699,730		4,699,730
消耗品費	1,320,480	804,706	77,683	2,202,869		2,202,869
印刷製本費	363,810	602,186	60,480	1,026,476		1,026,476
賃借料	0	30,891	0	30,891		30,891
諸謝金	126,959	0	222,740	349,699		349,699
租税公課	0	3,600	0	3,600		3,600
支払助成金	0	0	13,592,941	13,592,941		13,592,941
委託費	8,468,600	2,815,334	0	11,283,934		11,283,934
普及宣伝費	124,146	509,600	2,177,235	2,810,981		2,810,981
支払手数料	50,436	41,580	56,160	148,176		148,176
制作費	86,400	239,868	21,600	347,868		347,868
雑費	616,448	1,278,264	17,071	1,911,783		1,911,783
管理費					11,391,963	11,391,963
報酬					319,789	319,789
給料手当					1,656,370	1,656,370
法定福利費					34,959	34,959
旅費交通費					559,304	559,304
通信運搬費					260,012	260,012
消耗品費					992,902	992,902
印刷製本費					400,052	400,052
賃借料					324,000	324,000
租税公課					73,073	73,073
委託費					3,819,192	3,819,192
普及宣伝費					1,466,724	1,466,724
支払手数料					102,168	102,168
制作費					421,200	421,200
リース料					667,440	667,440
雑費					294,778	294,778
経常費用計	16,245,795	6,610,494	16,742,074	39,598,363	11,391,963	50,990,326
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	810,094	810,094
当期経常増減額	0	0	0	0	810,094	810,094
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	810,094	810,094
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	3,170,528	3,170,528
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	3,980,622	3,980,622
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	50,000,000	50,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	50,000,000	50,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	50,000,000	50,000,000
III. 正味財産期末残高	0	0	0	0	53,980,622	53,980,622

(注)消費税等の会計処理は税込方式によっております。

正味財産増減計算書
2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度 (2018年4月1日～2019年3月31日)	前年度 (2017年4月1日～2018年3月31日)	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	132,714	0	132,714
受取寄付金	45,000,000	45,000,000	0
賛助会費	7,000,000	6,800,000	200,000
雑収益(受取利息配当金他)	24,034	420	23,614
経常収益計	52,156,748	51,800,420	356,328
(2) 経常費用			
事業費	37,632,685	39,598,363	▲ 1,965,678
旅費交通費	1,415,607	1,189,415	226,192
通信運搬費	5,221,223	4,699,730	521,493
消耗品費	2,256,254	2,202,869	53,385
印刷製本費	419,310	1,026,476	▲ 607,166
賃借料	27,063	30,891	▲ 3,828
会議費	65,097	0	65,097
諸謝金	392,020	349,699	42,321
租税公課	11,600	3,600	8,000
支払助成金	13,771,630	13,592,941	178,689
支払保険料	300,344	0	300,344
委託費	10,445,760	11,283,934	▲ 838,174
普及宣伝費	2,197,534	2,810,981	▲ 613,447
支払手数料	56,430	148,176	▲ 91,746
制作費	117,936	347,868	▲ 229,932
雑費	934,877	1,911,783	▲ 976,906
管理費	12,026,876	11,391,963	634,913
報酬	319,789	319,789	0
給料手当	2,695,620	1,656,370	1,039,250
法定福利費	121,663	34,959	86,704
旅費交通費	400,296	559,304	▲ 159,008
通信運搬費	237,375	260,012	▲ 22,637
消耗品費	425,542	992,902	▲ 567,360
印刷製本費	538,210	400,052	138,158
賃借料	324,000	324,000	0
会議費	28,919	0	28,919
諸謝金	0	0	0
租税公課	91,415	73,073	18,342
委託費	3,790,957	3,819,192	▲ 28,235
普及宣伝費	2,150,658	1,466,724	683,934
支払手数料	32,076	102,168	▲ 70,092
制作費	32,400	421,200	▲ 388,800
リース料	679,104	667,440	11,664
雑費	158,852	294,778	▲ 135,926
経常費用計	49,659,561	50,990,326	▲ 1,330,765
評価損益等調整前当期経常増減額	2,497,187	810,094	1,687,093
当期経常増減額	2,497,187	810,094	1,687,093
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,497,187	810,094	1,687,093
一般正味財産期首残高	3,980,622	3,170,528	810,094
一般正味財産期末残高	6,477,809	3,980,622	2,497,187
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	45,000,000	50,000,000	▲ 5,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	45,000,000	50,000,000	▲ 5,000,000
指定正味財産期首残高	50,000,000	0	50,000,000
指定正味財産期末残高	95,000,000	50,000,000	45,000,000
III. 正味財産期末残高	101,477,809	53,980,622	47,497,187

正味財産増減計算書内訳表
2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:円)

科目	事業会計				法人会計 (管理費)	合計
	環境活動		次世代育成支援活動	小計		
	山下池周辺での 環境教育活動	坊ガツル湿原一帯での 環境保全活動				
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
特定資産運用益	0	0	0	0	132,714	132,714
受取寄付金	13,331,073	5,182,817	12,095,281	30,609,171	14,390,829	45,000,000
賛助会費	3,047,481	1,188,577	2,763,942	7,000,000	0	7,000,000
雑収益(受取利息配当金)	5,000	18,514	0	23,514	520	24,034
経常収益計	16,383,554	6,389,908	14,859,223	37,632,685	14,524,063	52,156,748
(2) 経常費用						
事業費	16,383,554	6,389,908	14,859,223	37,632,685		37,632,685
旅費交通費	615,927	408,490	391,190	1,415,607		1,415,607
通信運搬費	5,220,977	0	246	5,221,223		5,221,223
消耗品費	1,714,779	442,375	99,100	2,256,254		2,256,254
印刷製本費	215,460	84,240	119,610	419,310		419,310
賃借料	0	27,063	0	27,063		27,063
会議費	8,000	36,630	20,467	65,097		65,097
諸謝金	169,280	0	222,740	392,020		392,020
租税公課	11,000	600	0	11,600		11,600
支払助成金	0	0	13,771,630	13,771,630		13,771,630
支払保険料	142,630	157,714	0	300,344		300,344
委託費	7,622,640	2,823,120	0	10,445,760		10,445,760
普及宣伝費	414,950	1,588,568	194,016	2,197,534		2,197,534
支払手数料	19,818	19,494	17,118	56,430		56,430
制作費	64,800	42,336	10,800	117,936		117,936
雑費	163,293	759,278	12,306	934,877		934,877
管理費					12,026,876	12,026,876
報酬					319,789	319,789
給料手当					2,695,620	2,695,620
法定福利費					121,663	121,663
旅費交通費					400,296	400,296
通信運搬費					237,375	237,375
消耗品費					425,542	425,542
印刷製本費					538,210	538,210
賃借料					324,000	324,000
会議費					28,919	28,919
諸謝金					0	0
租税公課					91,415	91,415
委託費					3,790,957	3,790,957
普及宣伝費					2,150,658	2,150,658
支払手数料					32,076	32,076
制作費					32,400	32,400
リース料					679,104	679,104
雑費					158,852	158,852
経常費用計	16,383,554	6,389,908	14,859,223	37,632,685	12,026,876	49,659,561
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	2,497,187	2,497,187
当期経常増減額	0	0	0	0	2,497,187	2,497,187
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	2,497,187	2,497,187
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	3,980,622	3,980,622
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	6,477,809	6,477,809
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	45,000,000	45,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	45,000,000	45,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	50,000,000	50,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	95,000,000	95,000,000
III. 正味財産期末残高	0	0	0	0	101,477,809	101,477,809

財産目録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 宮崎銀行 福岡支店	運転資金として	5,221,249
	未収入金	協同組合福岡情報ビジネス・きんしゃいきゃんぱす	出資金配当金・助成金返還金	218
流動資産合計				5,221,467
(固定資産)	敷金	福岡建物株式会社	駐車場使用契約の為	54,000
	出資金	協同組合福岡情報ビジネス	ETC大口多頻度割引制度利用の為	10,000
固定資産合計				64,000
資産合計				5,285,467
(流動負債)	未払金	税金・派遣委託費等	業務運営費等の未払分	2,114,939
流動負債合計				2,114,939
負債合計				2,114,939
正味財産				3,170,528

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
預金	普通預金 宮崎銀行 福岡支店	運転資金として	5,589,150
未収入金	協同組合福岡情報ビジネス	出資金配当金	320
流動資産合計			5,589,470
(固定資産)			
(1)特定資産			
九電みらい積立資産			
預金	普通預金積立資産口座 福岡銀行 渡辺通支店	環境活動事業、次世代育成支援活動事業及び管理運営の財源として	50,000,000
(2)その他の固定資産			
敷金	福岡建物株式会社	駐車場使用契約の為	54,000
出資金	協同組合福岡情報ビジネス	ETC大口多頻度割引制度利用の為	10,000
固定資産合計			50,064,000
資産合計			55,653,470
(流動負債)			
未払金	派遣委託費等	業務運営費等の未払分	1,672,848
流動負債合計			1,672,848
負債合計			1,672,848
正味財産			53,980,622

財産目録

2019年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
預金	普通預金事業費用 福岡銀行 渡辺通支店	運転資金として	7,285,276
未収入金	協同組合福岡情報ビジネス	出資金配当金	559
	NPO法人きゃんどのハート	2018年度助成金余剰分戻入金	608,116
流動資産合計			7,893,951
(固定資産)			
(1)特定資産			
九電みらい積立資産			
預金	普通預金積立資産用 福岡銀行 渡辺通支店	環境活動事業、次世代育成支援活動事業及び管理運営の財源として	45,112,391
投資有価証券	SMBC日興証券(株)	資産運用の為	30,000,000
	大和証券(株)	資産運用の為	20,000,000
(2)その他の固定資産			
敷金	福岡建物株式会社	駐車場使用契約の為	54,000
出資金	協同組合福岡情報ビジネス	ETC大口多頻度割引制度利用の為	10,000
固定資産合計			95,176,391
資産合計			103,070,342
(流動負債)			
未払金	派遣委託費等	業務運営費等の未払分	1,592,533
流動負債合計			1,592,533
負債合計			1,592,533
正味財産			101,477,809

監査報告書

一般財団法人九電みらい財団
代表理事 田中 徹 殿

一般財団法人九電みらい財団
平成29年4月28日

監 事 清水 剛

一般財団法人九電みらい財団の平成28年度における会計決算並びに業務執行状況について、定款23条の規定に基づき監査した結果を下記のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査について、理事会に出席し、理事及び使用人から業務の報告を受け、関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書についての正確性を検討した。

2 監査の結果

- (1) 計算書類及びその附属明細書は公益法人会計基準に準拠し作成され、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 業務執行については、法令及び定款に従い適正に行われており、事業報告書の内容は、法人の状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

監査報告書

一般財団法人九電みらい財団
代表理事 田中 徹 殿

一般財団法人九電みらい財団
平成30年4月27日

監 事 清水 剛

一般財団法人九電みらい財団の平成29年度における会計決算並びに業務執行状況について、定款24条の規定に基づき監査した結果を下記のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査について、理事会に出席し、理事及び使用人から業務の報告を受け、関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書についての正確性を検討した。

2 監査の結果

- (1) 計算書類及びその附属明細書は公益法人会計基準に準拠し作成され、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 業務執行については、法令及び定款に従い適正に行われており、事業報告書の内容は、法人の状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

監査報告書

一般財団法人九電みらい財団
代表理事 田中 徹 殿

一般財団法人九電みらい財団
2019年5月15日

監事 清水 剛

一般財団法人九電みらい財団の2018年度における会計決算並びに業務執行状況について、定款24条の規定に基づき監査した結果を下記のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査について、理事会に出席し、理事及び使用人から業務の報告を受け、関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書についての正確性を検討した。

2 監査の結果

- (1) 計算書類及びその附属明細書は公益法人会計基準に準拠し作成され、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 業務執行については、法令及び定款に従い適正に行われており、事業報告書の内容は、法人の状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上